

第269回 都市懇サロン レポート	『私たちの時代に、建築的思考から都市をつくること』 ～都心・地方における実践を通して～				
講師	株式会社日本設計プロジェクトデザイン群 主管 明星大学 建築学部 非常勤講師 中山 佳子 さん	開催日	2023年4月11日（火） 18:00～20:00		
講師 プロフィール	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法政大学卒業後、横浜国立大学大学院建築都市スクールY-GSA 修了（山本理顕賞（専攻主席））</li> <li>●2011年、株式会社日本設計入社、現在に至る（一級建築士）</li> <li>●建築デザイン、都市デザイン、グラフィックのデザインとディレクションを通し、地域課題、事業課題、社会課題解決を目指す</li> <li>●5年前より茨城県を中心に、地方都市における取組みに公私で従事</li> </ul>				
お話の概要	<b>1. 自己紹介</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワード（私たちの時代、都市づくりのリアル、ARCHITECTの職能）</li> <li>・「私たちの時代」：低成長で不確実な時代</li> <li>・「都市づくりのリアル」：都心（企業主導の高度開発）、地方（官民主導の実験的空間活用）</li> <li>・「ARCHITECTの職能」：建築家に求められる職能の変化</li> </ul>				
	<b>2. ケーススタディ</b>				
	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="207 907 837 974">①再開発事業バスターミナル整備 (東京都中央区八重洲地区)</th> <th data-bbox="837 907 1455 974">②車から人中心のまちなか再生 (茨城県水戸市まちなか地区)</th> </tr> <tr> <td data-bbox="207 974 837 1176">敷地/容積率：4.3ha/1,670% 駅乗降客数：約82万人 整備対象：バスターミナル 実施内容：プロジェクトデザイン、 空間デザイン、デザインマネジメント 関わり方：業務責任者（日本設計）</td> <td data-bbox="837 974 1455 1176">敷地/容積率：4.6ha/400% 駅乗降客数：約6万人 整備対象：パブリックスペース 実施内容：未来ビジョン策定、空間活用実験、 まちづくりプラットフォーム設立 関わり方：協議会専門委員（個人）</td> </tr> </table>	①再開発事業バスターミナル整備 (東京都中央区八重洲地区)	②車から人中心のまちなか再生 (茨城県水戸市まちなか地区)	敷地/容積率：4.3ha/1,670% 駅乗降客数：約82万人 整備対象：バスターミナル 実施内容：プロジェクトデザイン、 空間デザイン、デザインマネジメント 関わり方：業務責任者（日本設計）	敷地/容積率：4.6ha/400% 駅乗降客数：約6万人 整備対象：パブリックスペース 実施内容：未来ビジョン策定、空間活用実験、 まちづくりプラットフォーム設立 関わり方：協議会専門委員（個人）
①再開発事業バスターミナル整備 (東京都中央区八重洲地区)	②車から人中心のまちなか再生 (茨城県水戸市まちなか地区)				
敷地/容積率：4.3ha/1,670% 駅乗降客数：約82万人 整備対象：バスターミナル 実施内容：プロジェクトデザイン、 空間デザイン、デザインマネジメント 関わり方：業務責任者（日本設計）	敷地/容積率：4.6ha/400% 駅乗降客数：約6万人 整備対象：パブリックスペース 実施内容：未来ビジョン策定、空間活用実験、 まちづくりプラットフォーム設立 関わり方：協議会専門委員（個人）				
<a href="http://bt-tokyoyaesu.com">バスターミナル東京八重洲 (bt-tokyoyaesu.com)</a> <a href="http://mitomachinaka.com">水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会   水戸市 (mitomachinaka.com)</a>					
<b>3. まとめ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト自体からデザインする（骨太なデザインコンセプト）</li> <li>・共感づくり（異分野協働力、信頼関係）</li> </ul>					
意見交換	<p>参加者の質問等から講師の解説、意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●八重洲地区（デザイン）について <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーとデザインのすり合わせ（輝度比の確保など）、運輸事業者との調整</li> </ul> </li> <li>●水戸市まちなか地区について <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の取り組み意識（東京と水戸の同時活動は相互に好影響）</li> <li>・地方自治体の意識（首長の意識（財源化）、ソーシャル・インパクト・ボンド）</li> </ul> </li> </ul>				
記録者の ひとこと	<p>大都市と地方都市の事例説明が対比的で理解しやすく、各事例の取り組みは興味深い内容であった。  《都市懇サロン運営部会 委員 今井 重行》</p>				